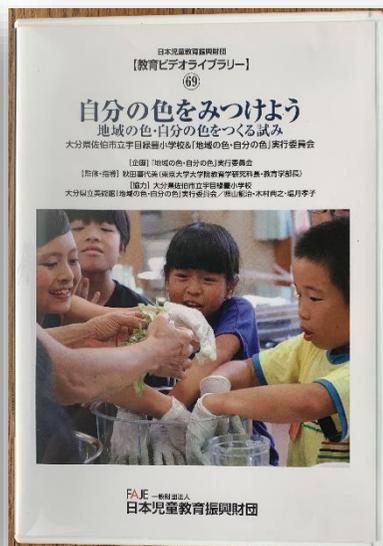
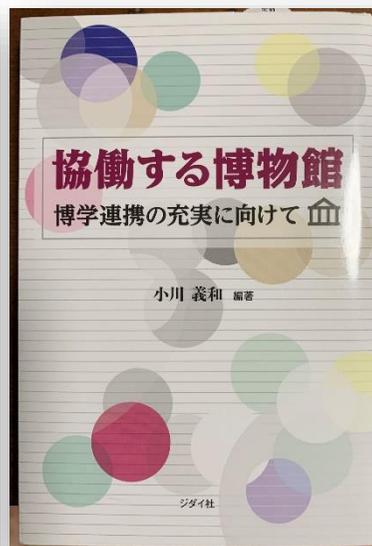


# 「地域の色・自分の色」研究会のこれまでの活動

## 2014 年度

- ①. 「色」から、「地域の素晴らしさ」と、そこで生まれ育った「自分の良さ」の再発見」を目的に立ち上げた。
- ②. 一時期、実行委員会を組織。明石書店から「色から始まる探究学習」、ジダイ社から「協働する博物館」、日本児童教育振興財団(小学館)から DVD「自分の色を見つけよう」等出版。
- ③. 教育活動が評価され、「読売教育賞(最優秀賞)」を受賞。



**2019年度** 研究会に立ち返り、「色」の研究と活動を再開。

**2020年度**

①.京都大学地球熱学研究施設協力の下、別府学の別府市で活動開始。

入門教材「ふるさとのたからもの」作成。

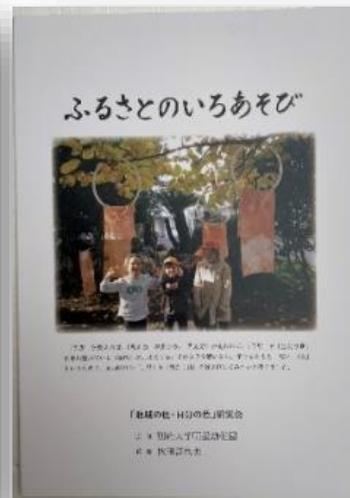
②.こども環境学会から「ポスター発表賞」受賞

**2021年度**

①.探究教材「ふるさとのふしぎ」、幼稚園の実践記録「ふるさとのいろあそび」作成。

②.こども環境学会

「学会賞(活動奨励賞)」受賞。



③.教材は、県立図書館をはじめ、別府市立図書館や別府市の全市立幼稚園・小中学校に置き、アンケート調査。

「ほとんど活用できる」という意見の中、いくつかの幼児教育施設からは、「幼児には、言葉と内容が難しい」などの意見あり。

④.血の池地獄と鬼石坊主地獄に、「こども『色』博物館」設置。

その中で、子どもたちの作品、教材、研究成果などを展示。付箋紙により、多くの来館者から、ご意見。

「自然に生まれた赤、不思議です」、「こんなことが出来る貴方たちがうらやましい」、「手ぬぐいの商品化、熱望」、

「別府の地域資源を見直しました」など、243件。

血の池地獄こども「色」博物館



鬼石坊主地獄こども「色」博物館



## 2022 年度

①.鶴見小学校と安岐中央小学校で実践と交流授業。②.作品を、

血の池地獄「こども『色』博物館」に展示。

③.学習材「ふるさとのだいち」を作成。

④.NTTの「まちづくり」モデルとして、  
全国の「官公庁」や「企業」に紹介された。



NTT(日本電信電話株式会社) sspp 「子どもを中心としたまちづくり」



## 2023 年度

①.「言葉と内容が難しい」「どのように活用したら良いのか」との意見を踏まえ、「実践を踏まえた手引き書」と「他の幼児教育施設の独自の取り組み」を学習材「続ふるさとのいろあそび」にまとめた。

②.QRコードで、研究会のホームページと繋ぎ、活動の様子を動画で見ることができるようにした。

